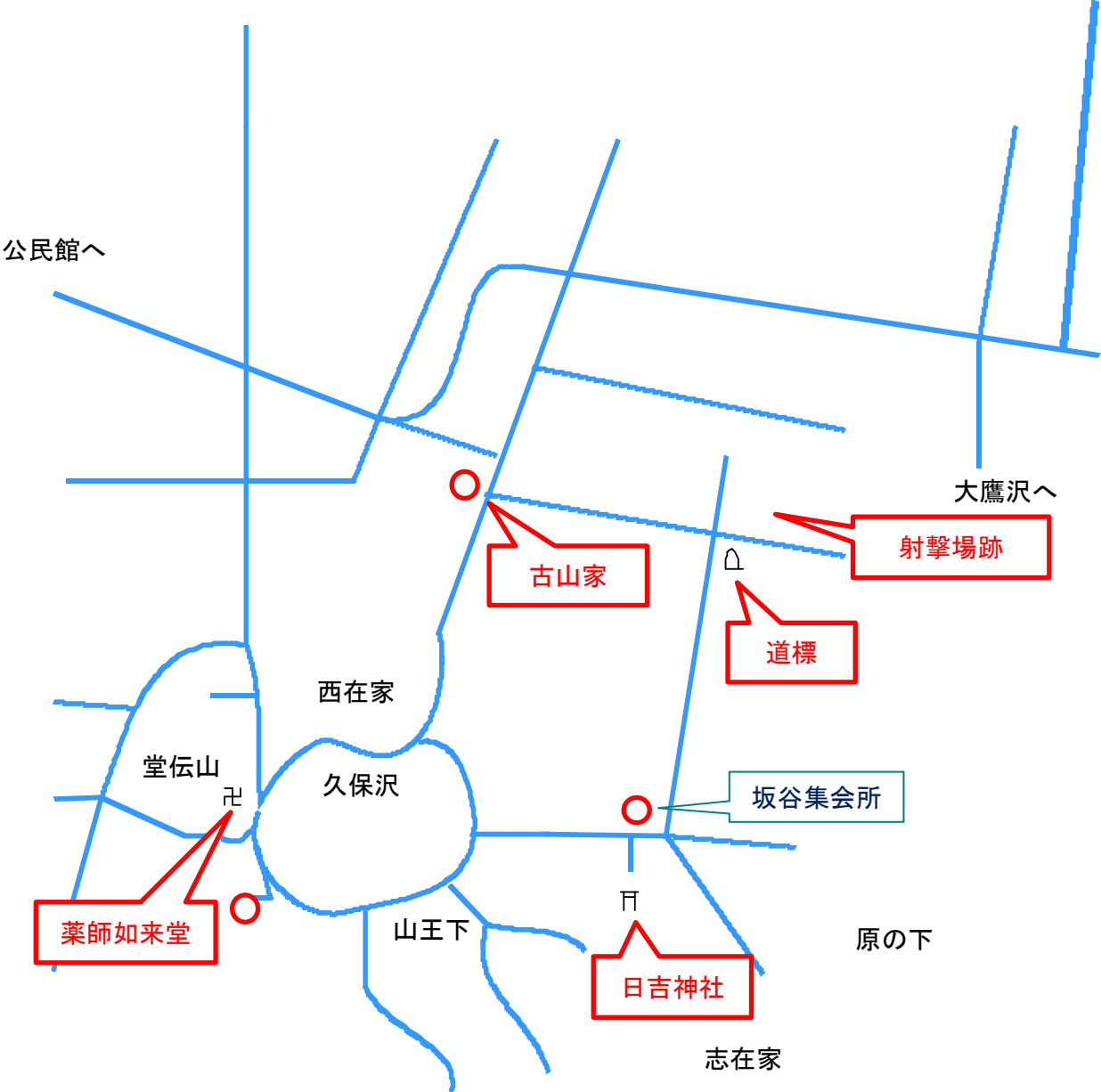


大平坂谷地区



① 古山家



代々片倉家に仕え、若殿様付き留守居役(城代格)であった。

門、庭、土蔵などが残っている例はほかにはない。

『奥方御門』

白石城の本丸にあった門を移築したもの。

『硝煙蔵』

鉄砲薬蔵ともいう。

『庭園』

白石城の庭を移植した庭園。

② 日吉神社



以前は、山王神社と呼ばれていた。1467年、今蔵法師により厄除けの神として分社され、山王さんとして尊称され奉祭された。

安政元年福島市鳥渡山王宮司の指導により日吉神社と改名された。五穀豊穰のほか家運興隆の神として信仰を集めている。また、眼病平癒の効高いと言われている。

山王神社は白河天皇の御代約九百余年前に滋賀県坂本の日吉山王大神を勧請した古いお社である。

御祭神の大山咋神、玉依姫神は御夫婦神で大己貴神は大国主命の別の御名であり酒造り、施薬治病の業を始められた神、縁結び福の神として慕われ信仰されている。境内には男岩、女岩があり昔は御神前の両側にあって両岩を撫で祈願をこめ縁結び、安産子授を祈った。

③ 薬師如来



本尊は薬壺を持った薬師瑠璃光如来で、特に、眼病には靈驗新たなこととして信仰も厚かった。